

表紙 目次 奥付等

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 麻子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00033051



女性医師・研究者支援シンポジウム 2020

抄録集

東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
女性医師・研究者支援部門



ご挨拶

佐藤 麻子

東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター

女性医師・研究者支援部門長

東京女子医科大学臨床検査科 教授

2001年、男女がお互いの人権を尊重し、社会・経済情勢の変化に対応した豊かで活力のある社会を築いていくことを目的として、内閣府に男女共同参画局が設立されました。我々が所属する医療分野も例外ではなく、昨今の医学部入試における女子選抜が社会問題となり、医学会における女性差別が少しずつ世に知られるようになってきました。

翻って、我が東京女子医科大学は1900年とすでに一世紀前から「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医療人を育成する。」を建学の精神とし、まさに社会に貢献する女性医師を育成してきました。しかし、本学で働く女性医師にとっても育児と仕事の両立は難しく、その支援の一つとして、2006年度より前部門長である斎藤加代子先生が、女性医師・研究者支援部門において子育て支援、勤務環境の改善、生涯教育・研究支援を軸として、困難に直面する女性医師に診療の継続や研究の遂行を可能とするシステム作りを開始しました。システムは「院内保育・病児保育・ファミリーサポート事業の子育て支援」として順調に発展し、近隣の住民を中心として提供会員を募り、「子育て支援セミナー」を実施し、依頼会員である各先生の様々なご事情に合わせたきめ細やかな支援を行なっています。また、「宮原敏基金・女性臨床医師支援」により診療現場へ短時間勤務制度を導入し、勤務環境の改善を通じて女性臨床系教員の勤務継続とキャリア形成支援を行っております。一昨年度より導入した研究支援員制度では、ライフイベントにより研究継続・研究時間確保が難しくなった女性研究者だけでなく、十分な実績がある将来有望な女性研究者に対しても研究支援員を配置し、女性研究者のさらなる研究力向上を目指しています。さらに、女子中高生向けの理系進路選択支援プログラムも本部門で行い、次世代の育成にも努めてまいります。

今回のシンポジウムでは、第一部で女性医師・研究者支援部門の研究支援員制度の支援を受けた研究者と、学生による研究発表を行います。研究マインドを身に着けることの大切さ、難しい環境の中でも研究を継続する力を感じていただければと思います。また、第二部ではダイバーシティ環境整備推進室より、勤務環境改善プロジェクトの発表を行っていただきます。男性医師とも勤務環境の問題点を共有し、医局という相互理解しやすい単位から、意識改革が生まれることを期待しています。

現在、新型コロナウイルス感染が拡大し医療崩壊が懸念される中、学校休校も重なり、女性医師への支援は逼迫したものになっています。本事業をご支援くださっている皆様、特に女性医療人キャリア形成センタースタッフ、院内保育所の皆様、ファミリーサポートの皆様に心から感謝申し上げますとともに、引き続き皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
女性医師・研究者支援部門

女性医師・研究者支援シンポジウム 2020

目次

1. プログラム	-----	3
2. 女性医師研究者研究成果報告	-----	4
3. 企画挨拶	-----	7
4. 講演者紹介	-----	8
5. 企画挨拶	-----	10
6. 編集後記	-----	11

プログラム

司会：村崎 かがり 教授

〔女性医師・研究者支援部門副部門長、予防医学科〕

- 9:30-9:45 【挨拶】
岩本 絹子 理事長
丸 義朗 学長
- 9:45-9:50 【開会の挨拶】
肥塚 直美 常務理事〔女性医療人キャリア形成センター長〕
- 9:50 -10:05 【東京女子医科大学の女性医師研究者支援】
佐藤 麻子 教授〔女性医師・研究者支援部門長、臨床検査科〕
- 10:05-10:45 【女性医師研究者研究発表会】
2019年度「研究支援員制度」利用者による研究報告
座長：柴田 亮行 教授・講座主任〔病理学（病態神経科学分野）〕
演者：新井田 素子 講師〔病理学（病態神経科学分野）〕
座長：萩原 将太郎 講師〔血液内科学〕
演者：田中 紀奈 助教〔血液内科学〕
- 10:45-11:35 【2019年度研究プロジェクト 研究報告（医学部4年生）】
座長：竹宮 孝子 准教授〔看護学部基礎科学〕
演者：菅 ふみ香〔生化学〕
小野 瑞貴〔先端生命医科学研究所〕
菊池 華代〔学生健康管理室〕
海津 優香〔呼吸器内科学〕
- 11:35-11:50 コーヒーブレイク
- 11:50-12:25 【ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業「勤務環境改善プロジェクト」報告】
座長：本多 祥子 准教授〔ダイバーシティ環境整備事業推進室長、解剖学〕
演者：福屋 泰子 講師〔皮膚科学〕
演者：久保田 英 准講師〔救急医学〕
- 12:25-12:30 【閉会の挨拶】
石黒 直子 医学部長

編集後記

2020年6月13日に開催を予定しておりました「女性医師・研究者支援シンポジウム2020」は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の国内での感染拡大が見られる現状において、参加を予定いただいている皆様の感染予防、地域への感染拡大防止が最重要と考え、ビデオ収録による配信となりました。

医学部4年生の「2019年度研究プロジェクト 研究報告」は同様の理由により収録ができませんでした。研究報告の準備をしていた4名の学生さんにはせっかくのチャンスを失うことになりましたが、この経験を生かして今後も研究マインドを持って活躍していただければと思っております。

また、環境改善プロジェクト報告を予定しておりました救急医学はCOVID-19の対応にて収録ができませんでした。最前線で患者さんの治療に尽力されている救急医学の先生方に、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

ビデオ録画は、医学部4年生の「至誠と愛」の実践学習の授業で配信いたします。皆様の安全と感染拡大の防止を考慮しての判断となります。ご理解頂けましたら幸甚です

(佐藤麻子)

発行者： 東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
女性医師・研究者支援部門

発行日： 2020年6月

住 所： 東京都新宿区河田町8-1

連絡先： 03-3353-8112（内線41382）

（許可無く複製を禁じる）